

シンポジウム企画「巨大災害へのレジリエンスをどうとらえるか？」  
ビッグデータ・インフラ技術・土地利用マネジメントの統合」

○日時：5月20日（水） 15：10～18：30

○場所：名古屋大学減災館 減災ホール

○共催：名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター  
名古屋大学減災連携研究センター

○趣旨

文科省の大学発グリーンイノベーション創出事業「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス（GRENE）」の一環として持続的共発展教育研究センターのメンバーが中心となって進めている研究プロジェクト「環境情報技術を用いたレジリエントな国土のデザイン」（平成23～27年度）では、ビッグデータを活用し、巨大災害に対するレジリエンスを高めながら、少子高齢化・人口減少といった社会的変化に対応できる国土・地域を形成する方法論を研究し提言している。その一環として今年3月に書籍「レジリエンスと地域創生」を発刊した。これらの成果を学内や名古屋地域に紹介するとともに、減災センターを初めとして地域で実際に取り組んでいる皆様と、レジリエンスとはどのようなものであって、どのように確保向上していけばよいか、そのためにハードとソフトのアプローチをどう融合させるかについて議論するキックオフの機会としたい。

○内容

15:10～15:20 開会挨拶 林良嗣 環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長

15:20～16:00 基調講演 東京大学 小池俊雄教授

「ビッグデータでレジリエンスをとらえる」（仮）

<DIASによる流域管理や水害リスク把握の取組を想定>

16:00～16:40 ショートスピーチ「私はレジリエンスをこうとらえる」

林良嗣教授（名古屋大学、プロジェクトの紹介を兼ねて）10分

鈴木康弘教授（名古屋大学、本の紹介を兼ねて）10分

加藤孝明准教授（東京大学）5分

佐藤慎司教授（東京大学）5分

塚原健一教授（九州大学）5分

加藤博和准教授（名古屋大学）5分

16:40～16:55 休憩

16:55～18:25 パネルディスカッション「レジリエンスをどうとらえるか？」

上記出演者＋討論者（明治大学 中林一樹特任教授

名古屋大学工学研究科社会基盤工学専攻 水谷法美教授

名古屋大学工学研究科社会基盤工学専攻 中村光教授

名古屋大学減災連携研究センター 廣井悠准教授

名古屋市長務局企画部企画課長 難波伸治氏）

コーディネーター：加藤博和准教授

18:25～18:30 閉会挨拶 減災連携研究センター 鈴木康弘教授